

なかつか 亮



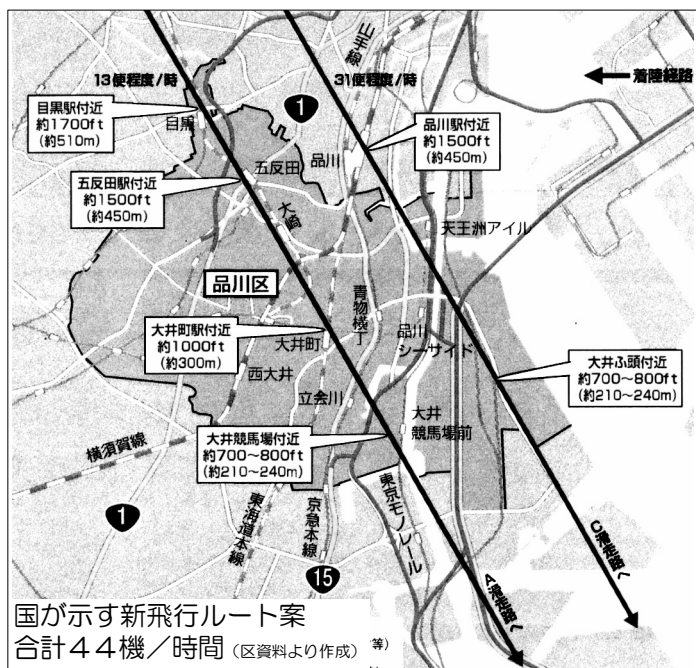
2016年11月6日(日)

NO505

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231



2020年実施予定まで
あと4年

飛行回数はかつての2倍 1時間44機

区議会で新事実が判明

品川低空飛行は中止を

騒音 落下物 大気汚染 墜落事故のリスク

「まさかこんな計画が進められているなんて」「今の海を通るルートが一番安全。どう考えても市街地は危険。やめてほしい」と反対の声が住民からあがっています。

計画の現状

国土交通省は羽田空港へのルート変更について、2020年導入を目指し、来年度予算に工事費の一部を要求。安倍内閣による予算決定へ、計画の既成事実を狙っています。

こうしたなか「反対

する区民の会」は絶対に認めないと新たに反対署名を開始。計画撤回へ住民集会やデモ行進の開催など反対運動を大きく広げています。

なぜ品川区長は反対しないの？

区議会では住環境に重大な被害を与える航空機公害から区民生活を守ろうと、計画の撤回へ品川区長の反対表明を求める意見が複数の会派からあがっています。ところが区長の反対表明はまだまだありません。(裏へ)



10月29日に荏原第五にて住民反対集会。共産党と生活者ネットの議員が挨拶をしました。

国が着々と計画を進めるなか、重大な問題は「品川区長が反対しない」と言う事。それどころか、防音対策などの条件次第で計画内容もありうる状況です。共産党は区長の姿勢を正すため10月19日の決算委員会総括質疑（品川ケーブルテレビで放映）で取り上げました。

区は反対しない理由

を「区民への丁寧な説明を求めている」と説明。国が来年度予算に計画の一部を計上しようとしている時に「説明を求めている」を理由にするとはまったくのちぐはぐ。これは航空機公害から住民を守る姿勢が無い表れです。

かつての2倍
質疑を通じ、今回の1時間あたり44機（南風時…13時～19時）とは、かつて品川上空を通過していた時の2倍だという事がわかりました。共産党は「航空機公害がひどがった当時、品川の上を1時間あたり何機ぐらい飛んでいたのか」と区議会で質問。区は「平成3年のデータで1時間あたり20機前後が飛行」と説明がありました。

被害と認めない品川区

かつて品川上空を羽田空港への着陸機が通過していた当時の区長は、航空機公害として位置づけ国に海上ルートへの変更を要望し、これを実現させました。

ところが現在の品川区長は当時の2倍にも関わらず反対表明が無いばかりか、さらに「騒音は基準値の範囲内」と公害との認識も示さず、その上、落下物や墜落のリスクについて「あらかじめ予見を持たず、具体的な再発防止を積み上げる事が大切」と被害予測すら拒む状況です。

区長が反対をするところが計画を止める力になります。引き続き反対世論を広げましょう。

「区民の会」の取り組み予定 ぜひ、ご参加ください！

羽田増便による低空飛行ルートに反対する品川区民の会（代表：秋田操）

11月 8日（火）12時より 品川区役所前昼休み宣伝 13時より議会傍聴
11月19日（土）午後3時より 大井町駅前・ヤマダ電機前 宣伝・署名行動
26日（土）午後3時より 大井町駅前・イトーヨーカ堂前 宣伝・署名行動

12月の行動予定 国会院内集会と国土交通省前宣伝（現在、日程を調整中）

次回の『無料法律相談会』は下記の日程で行います

急な生活相談など、ご相談はお気軽にご連絡下さい

11月25日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅